

全体のまとまりを意識し、思いや意図をもって音楽をつくる活動の充実に関する実践

日 時 令和3年9月24日（金）、9月28日（火）

対 象 大槌町立大槌学園

指導者 総合教育センター 研修指導主事 赤坂 裕子

大槌町立大槌学園 教諭 池田百合子

1 題材名

日本の音階を使って、旋律を反復させたり、変化させたりして、まとまりのある旋律をつくろう

2 題材の目標

| 知識及び技能 | 思考力、判断力、表現力等 | 学びに向かう力、人間性等 |
|---|---|--|
| 日本の音階や旋律の反復や変化について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、旋律をつくる技能を身に付ける。 | 日本の音階、旋律の反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えるとともに、どのように全体のまとまりを意識した旋律をつくるかについて思いや意図をもつ。 | 日本の音階を使って、旋律を反復させたり変化させたりして、まとまりのある旋律をつくることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組む。 |

3 題材の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| 知 日本の音階や旋律の反復や変化について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解している。 技 思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、旋律をつくる技能を身に付けている。 | 日本の音階、旋律の反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えるとともに、どのように全体のまとまりを意識した旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。 | 日本の音階を使って、旋律を反復させたり変化させたりして、まとまりのある旋律をつくることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。 |

4 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて

音楽づくりの活動過程において、児童が、音楽を形づくっている要素（旋律、音階、反復、変化）を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取る、音楽的な見方・考え方を働かせ、他者と協働しながら、音楽表現を生み出す学習の充実を図ることを目指す。

5 情報活用能力について

本題材の実践で、児童に必要なICTの基本操作

| | | | | | | | |
|--------------------------|-----------|--------------------------|--------------|--------------------------|-------------|--------------------------|-----------------|
| <input type="checkbox"/> | PCの起動や終了 | <input type="checkbox"/> | 写真や動画の撮影 | <input type="checkbox"/> | 写真や動画の視聴 | <input type="checkbox"/> | 写真や動画の編集 |
| <input type="checkbox"/> | 文字の入力 | <input type="checkbox"/> | ファイルの呼び出し・保存 | <input type="checkbox"/> | アプリケーションの操作 | <input type="checkbox"/> | ブラウザでのインターネット検索 |
| <input type="checkbox"/> | プレゼンテーション | <input type="checkbox"/> | 問題解決のための活用 | <input type="checkbox"/> | クラウドの協働作業 | <input type="checkbox"/> | 情報モラル・情報セキュリティ |

| 6 題材の指導と評価の計画（全体3時間） | | | | | |
|----------------------------|--|---|--|--|--|
| 時 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準・評価方法 | | |
| | | | 知・技 | 思 | 態 |
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 既習曲「さくら さくら」や「こきりこ」を聴き、楽曲のよさや面白さ、美しさが、どのようなところから感じ取れるかを確認し、共有する。 動機となる2小節の旋律（授業者がつくったもの）を聴き、旋律づくりの活動の見通しをもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> 既習曲「さくら さくら」や「こきりこ」を想起し、楽曲の雰囲気と音楽の仕組みとの関係を考えることを確認する。 気付いたことを生かして、旋律をつくることへの関心が高まるようにする。 動機となる2小節の旋律（授業者がつくったもの）を提示する。 題材全体の学習の見通しをもつように促す。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">知</div> 発言・記述 | | |
| 2 1 3 3 本 時 | <ul style="list-style-type: none"> 既習曲を想起し、日本の音階を使って、旋律を反復させたり、変化させたりして旋律をつくる活動の進め方を確認する。 動機となる2小節の旋律を、反復させたり、変化させたりしながら、思いや意図を膨らませ、6小節のまとまりのある旋律をつくる。 旋律をつくる過程で思いついたこと、思いや意図については、手書きでワークシートに記入しながら進める。 他者との交流から、互いにつくった旋律のよさや面白さ、美しさを共有する。 他者との交流を通して、新たに気付いたことなどを生かして、6小節を完成させる。 つくった旋律や、旋律に対する思いや意図を発表し合う。 活動を振り返り、学んだことや気付いたことをまとめる。 | <ul style="list-style-type: none"> 日本の音階を使って、旋律を反復させたり、変化させたりして旋律をつくるやり方を、アプリの操作方法の説明を交えながらやってみせる。 旋律のつくりかたや、アプリの操作方法などについて、個々の児童を支援する。 他者との交流から、互いにつくった旋律のよさや面白さ、美しさを共有できるように促す。 他者との交流を通して、新たに気付いたことなどを、自分の旋律づくりに生かすように促す。 児童がつくった旋律や、旋律に対する思いや意図を、発表を通して共有を図る。 児童全員のワークシートを、大型提示装置に映し出し、本時のまとめを行う。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">技</div> 聴取・記述 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">思</div> 発言・記述 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">態</div> 観察・聴取 |

7 本時の指導

(1) 本時の目標

音楽の仕組みである、旋律の反復や変化によって生まれるよさや面白さ、美しさを感じ取り、思いや意図を膨らませながら、6小節のまとまりのある音楽をつくる。

(2) 学校におけるICTを活用した学習場面

| A 一斉学習 | | B 個別学習 | | C 協働学習 | |
|---|--|---|--|---|--|
| <p>挿絵や写真等を拡大・縮小・画面への書き込み等を活用して、分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。</p> | | <p>デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習進度を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。</p> | | <p>タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。</p> | |
| <p>A1 教師による教材の提示</p>  <p>画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用</p> | | <p>B1 個に応じた学習</p>  <p>一人一人の習熟の程度等に応じた学習</p> | | <p>B2 調査活動</p>  <p>インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録</p> | |
| <p>B3 思考を深める学習</p>  <p>シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習</p> | | <p>B4 表現・制作</p>  <p>マルチメディアを用いた資料、作品の制作</p> | | <p>B5 家庭学習</p>  <p>情報端末の持ち帰りによる家庭学習</p> | |
| | | <p>C1 発表や話し合い</p>  <p>グループや学級全体での発表や話し合い</p> | | <p>C2 協働での意見整理</p>  <p>複数の意見・考えを議論して整理</p> | |
| | | <p>C3 協働制作</p>  <p>グループでの分担、協働による作品の制作</p> | | <p>C4 学校の壁を越えた学習</p>  <p>遠隔地や海外の学校等との交流授業</p> | |

(3) コンピュータでできること

| | |
|-----------------------|------------|
| | 個別のドリル学習 |
| <input type="radio"/> | 試行錯誤する |
| | 写真撮影する |
| | 念入りに見る |
| <input type="radio"/> | 録音・録画と再視聴 |
| | 調べる |
| | 分析する |
| <input type="radio"/> | 考える |
| <input type="radio"/> | 見せる |
| <input type="radio"/> | 共有・協働する |
| | その他 () |

(4) 活用するICT機器等

| | | | | | |
|-----------------------|-----------------------|--|---------|-----------------------|--------------|
| <input type="radio"/> | タブレットPC | | ノートPC | | ウェブブラウザ |
| | デジタル教科書 | | 大型テレビ | | 電子黒板 |
| <input type="radio"/> | 授業支援ソフト | | 動画コンテンツ | <input type="radio"/> | プレゼンテーションソフト |
| | プロジェクター | | 書画カメラ | | ドリル教材 |
| <input type="radio"/> | その他 (大型提示装置、Apple TV) | | | | |

(5) 学習場面でのICTの活用の仕方

音楽づくりの活動は、児童が創造性を発揮しながら自分にとって価値のある音や音楽をつくるものであり、その過程において、思いや意図を伝え合うことと、実際に音で試すことを繰り返しながら、表現を工夫し、思いや意図を膨らませるよう促すことが大切である。

そこで、本時は、音で試すことを繰り返す場面と、思いや意図を伝え合う場面の2つの学習場面において、ICTを効果的に活用していく。

【B 個別学習】 [B3 思考を深める学習] [B4 表現・制作]

音で試すことを繰り返す場面では、「GarageBand」を使用する。このアプリは、楽器の演奏技能にかかわらず容易に音を出すことができる。また、つくった旋律を録音して、何度も再生したり、旋律をデータとしてコピー・ペーストして、音楽の構成上の特徴を視覚的に捉えたりしながら、旋律をつくることができる。これにより、児童は、視覚で旋律の反復や変化といった音楽の構造を捉えたり、旋律を何度も再生し、試行錯誤したりすることができる。

【C 協働学習】 [C1 発表や話し合い]

思いや意図を伝え合う場面では、「ロイロノート」を使用する。旋律を試行錯誤しながら思いついたことなどを書き留めたワークシートを「ロイロノート」のカメラで撮影することにより、全体での共有を図ることができる。

(6) 本時の指導案 (2-3/3)

| | | 指導上の留意点 |
|---|--|---|
| 学習活動 | | (◇評価 【 】評価の観点 ■活用するICT機器等) |
| 導入 10分 | <p>1 既習を振り返る</p> <p>既習曲「さくら さくら」や「こきりこ」を想起し、音楽のよさや面白さ、美しさと音楽の仕組みとの関わりを再確認する。</p> <p>2 課題を共有する</p> | <p>・既習曲に使われていた日本の音階や、旋律の反復、変化といった音楽の仕組みが、どのようなものであったかを想起するように促す。</p> |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 旋律を反復させたり、変化させたりすることによって生まれるよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、思いや意図を膨らませ、6小節のまとまりのある音楽をつくろう。 </div> | | |
| 展開 70分 | <p>3 旋律づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「GarageBand」の操作方法の確認をする。 ・前時で提示された動機となる2小節の旋律を聴く。 ・「GarageBand」を使用して、旋律を反復させたり、変化させたり、試行錯誤しながら、思いや意図を膨らませ、個々に6小節の旋律をつくる。 ・旋律をつくりながら思いついたことなどを、ワークシートに手書きで記入する。 ・つくった旋律やワークシートの内容を、ペアで交流する。 ・交流から気付いたことなどを生かし、さらに思いや意図を膨らませ、個々に旋律をつくる。 <p>4 発表交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数名の児童は、つくった旋律をワークシートを用いながら発表し、全体で共有する。 | <p>■ iPad (GarageBand) [B 3、B 4]、Apple TV</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「GarageBand」の使い方を全体で確認する。(個別でも支援) ・旋律を反復させたり変化させたりしながら、実際に6小節の旋律をつくる過程を説明しながらやって見せる。 ・どのような旋律をつくりたいか、思いや意図をもってつくるように促す。 ・ペアでの交流から、互いにつくった旋律のよさや面白さなどを共有するように促す。 ・他者との交流を通して、膨らんだ思いや意図、新たな気付きなどを自分の旋律に生かすように促す。 <p>◇思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、旋律をつくる技能を身に付けている。【技能】</p> <p>◇旋律、音階、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えるとともに、どのように全体のまとまりを意識した旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。【思考・判断・表現】</p> <p>◇日本の音階を使って、旋律を反復させたり変化させたりして、まとまりのある旋律をつくることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童がつくった旋律と、その思いや意図を関わらせて聴くように促す。 |
| 終末 10分 | <p>5 学習の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことや気付いたことをワークシートに記入し、「ロイロノート」のカメラで撮影して提出箱に入れ、全体で共有する。 | <p>■ 大型提示装置、iPad (ロイロノート) [C 1] Apple TV</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出された児童のワークシートを映し出す。 ・児童の発表を通して、旋律づくりの活動を振り返り、全体で共有する。 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 〈振り返りのキーワード〉 ・ 日本の音階 ・ 旋律の反復や変化 ・ 旋律の音型による感じ方の違い </div> | | |